



# 図書館は多様性のかたまり

上田図書館と創造館分室で月1回、本の読み聞かせなどを行っているおはなしの会。そこでボランティアを行う山浦美幸さんにお話を伺いました。



## おはなし会のご案内

おはなし会は、各地域のボランティアの皆さんにより、上田図書館、上田情報ライブラリー、丸子図書館、真田図書館、上田図書館創造館分室で毎月開催しています。3月の開催日程は21～22ページをご覧ください。

やまうらみゆき  
山浦美幸さん

- 「おはなしざしきわらしの会」主宰 (1985年2月から活動を始める)
- 「本は友だち」講師、子どもの読書に関する講座講師



特集  
そうだ、  
図書館へ行こう!!

調べたい、  
学びたい、  
楽しみたい

**おはなしの会での活動と活動に対する思いを教えてください。**

— おはなしの会は、子どもたちがたくさん本に出会い、お話の世界を楽しんでもらう場所です。ここでは、絵と文章が同時に楽しめる「絵本の読み聞かせ」も行いますが、もう一つ、私たちが物語を覚えて言葉だけで伝える「ストーリーテリング」を活動の中心としています。これは読書に限りなく近いとされており、聞き慣れていくことで創造力を豊かにしながら物語を受け取ることができるものです。毎月のおはなし会を楽しみにして、聞くことが習慣になってくれると嬉しいですね。

**おはなしの会にはどんな方が来ますか？**

— 親子でいらっしゃる方が多いです。約38年前におはなしの会を始めた頃はお母さんと一緒に親子ばかりでしたが、最近では両親やお父さんと一緒に子どもも珍しくなりました。お父さんたちは本当に自然体でお子さん連れでいらっしゃるので時代を感じています。

**活動を始めたきっかけは何ですか？**

— 松岡享子さんの「サンタクロースの部屋」という本を読んで「ストーリーテリング」を知り、聞く読書という考え方に強く惹かれました。物語の楽しさを知る前に読むことを義務付けられることが、読書の楽しさを知る妨げになっていると漠然と感じていたため、解決策だと飛びついたことがこの活動を始めたきっかけです。

「子どもの頃はよく図書館で本を借りたのに、最近はあまり行かないなあ……」「もつと本を読んだほうがいいのだけれども忙しくて……」「スマホもあるし何でも調べられるから……」「そんなことを思っている方はいませんか？」

インターネットが普及し、SNSなど情報収集の方法が多様化していますが、図書館は読書を楽しむことはもちろん、趣味や日常生活の実用的な知識を得たり、関心のある分野を学習したり。赤ちゃんからお年寄りまで、皆さんの豊かな暮らしに役立つような資料を提供しています。

また、講座やおはなし会などイベントの開催、調べものお手伝いなど、本を借りるだけではない利用の仕方もあります。

今回は図書館サービスの一部をご紹介します。多くの方が一度は行ったことのある図書館。久しぶりに出かけてみませんか。

上田図書館  
☎22・0880



**子どもの頃からよく図書館に来ていましたか？**

— はい、通いました。ありがたいことに通っていた小学校のすぐ近くに上田図書館があって、一人でも行けたんです。今の上田図書館が建ったばかりの頃の姿を思い出せるくらい、印象に残っています。「ポストの数ほど図書館」というキャッチフレーズがありますが、子どもにとって自分の意志で通えることも重要なかなと思います。そういう意味では学校図書館も大切に、私は両方通っていました。

**図書館とはどんな場所ですか？**

— いろいろな人の考え方や感じ方が詰まっている場所でしょうか。時代を問わず、人種や性別を問わず、その本が出版された時代のそれを書いた人の精一杯を収集し整理し保存していく機能が図書館の魅力だと感じています。そしてその精一杯は次の発見の土壌になります。図らずも本がバトンのような役割を果たすと考えるとワクワクします。

**近年はインターネットが普及して、図書館に行かなくても何でも調べられる環境があります。どうお感じですか？**

— スマホの普及で手軽にアクセスできるインターネットのスピードは魅力です。ただ情報の精査が必要なのと検索順位が自分の欲しい情報順と一致するとは限りません。知りたい内容によっては便利に使えない部分もあります。そしてSNSなどは自分がいいと思う人をフォローし

## 上田市の図書館100周年

上田市に初めて公立図書館が開館したのは大正12年(1923年)6月でした。建物は当時の明治記念館を譲り受け利用したもので(現在の市立第二中学校向かい側の建物)、昭和45年まで市立図書館として使用していました。開館当時の上田市公報には、「創立ノ際ニテ図書ノ数モ少ク閲覧者ニ満足ヲ興ヘ難キヲ遺憾トス」とあり、まだまだ本が少なかった様子がうかがえます。現在の市内図書館の合計蔵書数は約64万冊。市民の皆さんに支えられ市の発展とともに歩み、今年の上田市に図書館ができて100周年を迎えます。



**将来、図書館がどうあってほしいですか？**

— 公共図書館は運営側と利用者が両輪となつて形作るものだと考えています。そういった意味でおはなしの会での私たちの活動は読書仲間を増やすこと、ひいては将来の利用者を増やすことだったのではないかと振り返って思います。忙しくて本を読む時間が取れない、本では情報収集のスピードが劣るという声もあります。でも手間がかかるからこそ受け取れるものがあることを、忙しい毎日の中で思い出し、たまには図書館でも行ってみようかと大人になっても思ってくれればいいなあと思っています。そして図書館は蔵書こそが命です。これからも上田市の未来を見据えた選書と蔵書構成に尽力していただき、次の100年に備えてくださると嬉しいです。

## 📖 レファレンスってなに??



本が見つからなかったり、何か調べものをするときに、職員がお手伝いして本を紹介、提供するサービスです。関連する本を幅広く探すことができますので、どうぞお気軽にお声がけください。



### データベースで探す

上田情報ライブラリーには、新聞記事、言葉、人物、食と農、法律文献などの情報を調べられるオンラインデータベースがあり、キーワードなどで大量の情報を一度に検索することができます。

## 📖 イベント・講座もやってます!!

各館の特色を活かしたイベントを行っており、その一部をご紹介します。開催前には広報うえだやホームページなどでお知らせします。

### ピックアップイベント

- **貴重資料紹介展(上田図書館)**  
花月文庫、花春文庫など所蔵している近世以降の古書、古文書の内容を分かりやすく解説、展示
- **暮らしに役立つ講座(上田情報ライブラリー)**  
こころと頭の活用セミナー、Zoom講座、情報活用サポート
- **ぬいぐるみおとまり会(丸子図書館)**  
子どもたちのぬいぐるみが図書館にお泊まりし館内を探検、子どもたちが読む絵本を選ぶイベント
- **真田塾(真田図書館)**  
真田地域の自然・文化・歴史を知り、地域の魅力を学ぶ講座・講演会



### 利用者にインタビュー

## 館内の雰囲気が好き



うちやま ともこ  
内田元子さん

### 本との出会いは?

小学生の頃、お友達に本が大好きな子がいて、「図書委員と一緒にやらない?」と誘われて入ったのが、私の本との出会いです。今は小学校での読み聞かせと、真田図書館の「おはなし広場」のための本を探したり、趣味で版画をしているので、その下絵を見つけに図書館へ足を運んでいます。

### 図書館の良さ・魅力は?

真田図書館は自治センターに用事があるついでに寄ってみることができます。建物が大き過ぎず親しみやすく、館内の雰囲気が好きです。今はコロナ禍で短時間しかいられませんが、自由な時間がいっぱい取れたら、図書館でいろいろな本を読みたいと思っています。また、真田図書館サポーターの会があり、私も所属していますが、本を借りるだけでなく、行事やコンサートの企画・運営に参加し、楽しめるところも魅力です。

## 図書館へお出かけください

図書館の職員は、「ありがとうございます」のあいさつを大切にしています。これは図書館の利用に対する感謝の言葉であり、皆さんの身近な存在としてご利用いただきたいという思いが込められています。また、利用者の方から「ありがとうございます」と返していただくことも多く、これらも皆さんに喜んでもらえる図書館でありたいと考えています。図書館は、さまざまなサービスや使い方のコツを知ること、私たちの生活の中でもっと役立てることができる施設です。調べたい、学びたい、楽しみたい、そんなときはどうぞ図書館へお出かけください。

## こんな資料が充実!!

図書館では、各館の特色を活かした資料を収集しています。

- **上田図書館** 上田市文化センター(中央公民館)隣接  
…調べものに関する参考図書、郷土資料
- **上田情報ライブラリー** 上田駅前ビルパレオ 4階  
…暮らしとビジネス支援に関する本、文庫・新書、各種データベース
- **丸子図書館** 丸子中央病院西側  
…地域の特色に関する本(養蚕、温泉、ワイン、闘病記など)
- **真田図書館** 真田地域自治センター隣接  
…地域の特色に関する本(真田氏、ラグビー、スキーなど)、児童書
- **上田図書館創造館分室** 上田創造館 3階  
…科学の本、児童書
- **武石公民館図書室** 武石地域総合センター 2階  
…児童書 ※エコールに接続し本の貸出・予約(取り寄せ)・返却ができます。



図書館一覧  
ホームページ

## 📖 おさらい! エコールっていいよね!

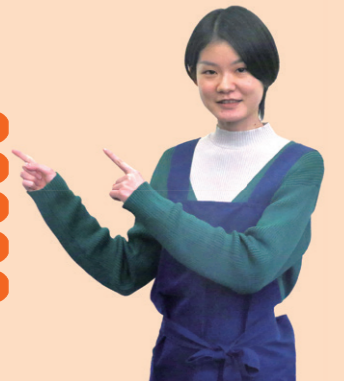
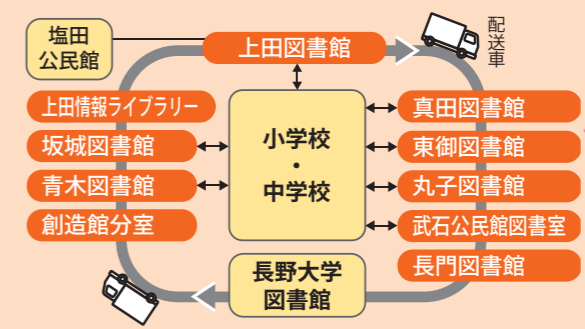
エコールとは上田地域図書館情報ネットワークの愛称で、上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町の図書館(室)などをネットワークで結び、図書館サービスを提供しています。

エコール内の蔵書数は、なんと約100万冊。エコール内の地域にお住まいの方や通勤・通学されている方であれば利用者カードを作り、本を借りることができます。

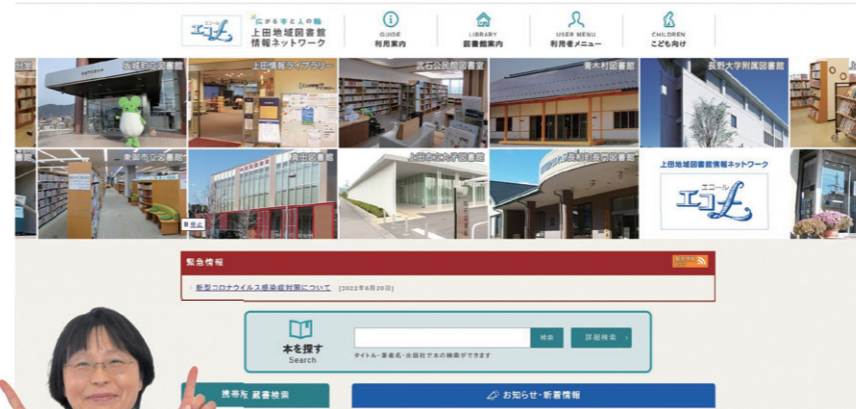
### エコールの使い方

- 貸出は1枚のカードで10冊(うち雑誌は5冊)まで、期間は21日間です(長野大学、塩田公民館、学校図書館の蔵書を除く)。
- 本が貸出中の場合、予約ができます。
- 本が他の図書館にある場合、近くの図書館に取り寄せることができます。
- 借りた本は学校図書館を除く図書館に返すことができます。

### 図書館情報ネットワーク



## 📖 蔵書検索・インターネット予約が便利!



エコール  
ホームページ

### 本の検索

パソコンやスマートフォンなどからエコールのホームページにアクセスし、キーワードなどで本を探すことができます。本があるかどうか確認したり、簡単な内容紹介を見ることができます。また、何を读もうか探しているときは、最近出版された本や貸出が多い本の情報を見て参考にする方法もあります。

### 本の予約

予約は図書館のカウンターでもできますが、図書館(長野大学、塩田公民館、学校図書館を除く)でインターネット予約サービスの登録をすると、パソコンやスマートフォンなどから本の予約ができます。また自分が借りている本や予約本などの確認もできます。

## 📖 え?片手に図書館!? デジとしよ信州

デジとしよ信州は、県と市町村が協力し運営する電子図書館です。市内在住の方や県外から市内に通勤・通学されている方で、エコール利用者カードをお持ちの方は市内の図書館(長野大学、塩田公民館、学校図書館を除く)で登録できます。

### 電子図書館のいいところ

忙しくてなかなか図書館に行かれない人も、パソコンやスマートフォンを使っていつでもどこでも本を借りることができます。期限が来ると自動返却されるので返し忘れもありません。本を読む際の文字の拡大、しおり機能も便利です。また、スマートフォン用アプリ「Libby」をインストールしてご利用いただく方法もあります。詳しくは市内図書館ホームページをご覧ください。



デジとしよ信州  
ホームページ

